

埼玉学園大学

人間学部 こども発達学科

こども保育コース (安達高校出身)

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

入学当初から編入を考えていました。公務員か編入かで悩んでいましたが「さらに深く保育を学びたい」と思うようになり、1年生の6月頃に編入に決めました。

Q. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。ガイダンスはいつ、どのような内容ですか。

初めに大学のホームページを見て各大学の特色や大学の先生の研究内容を調べ、資料を取り寄せました。それから志望理由書の作成を行い、オープンキャンパスに行き、大学の先生と事前相談をしました。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

受験の2か月前から面接練習を始め、こども保育コースの先生方に指導をしていただきました。入室から練習し、面接で聞かれやすい質問を中心に何度も繰り返し行いました。

Q. 編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

1年生の10月頃から志望理由書を作成し、数人の先生方に添削をお願いしました。自分の編入したい思いを書き表すことは難しく、何度も言葉に詰まることもありましたが、先生方の助言を参考にしながら作成することができました。また面接練習にも力を入れました。私は、緊張すると言葉が早口になってしまう傾向と、つなぎ言葉が多くなってしまったため、試験の直前の日まで練習を行いました。

Q. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

「親と子の広場」に参加している子どもたちの姿を授業内で見ると考察したり、友人と話し合ったりしたことが、大きな学びになったと感じています。実習では2週間という短期間での観察ですが「親と子の広場」では、長期間で関わりを持つことができるため、より深い子ども理解ができ、大きな学びになったと感じています。

Q. 先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

「志望理由書は志望大学に対するラブレターだから、自分がどうしてその大学に行きたいのか、思いをかけばいい」と言われたことです。このアドバイスを聞き、志望する大学のどこがいいのかを調べ、自分にしか書けない志望理由書を作成することを意識しました。

Q. ①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを教えてください。

- ①保育を学べることの期待に溢れていた。
- ②新たな環境でのスタートに楽しみな気持ち。
- ③不安な気持ちが大きかったが「今できることをやりきろう」という気持ち。
- ④不安から解放され安心した気持ち。これから更に学びを深められることの嬉しさ。

Q.これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

自分が行きたいと思う大学を選択することです。当初親からは国立大学への編入を勧められていましたが、勉強していく中で、心のどこかで「これでいいのか」とモヤモヤしていました。自分の人生の選択は、自分で決めた方が納得のいく結果になると思います。悩んだ時は先生方に相談してみてください。きっと不安がなくなると思います。私はこの進路を選んで後悔はありません。大変なことも多いと思いますが、頑張ってください。応援しています。